

【大動脈弁狭窄症】の【治療】のため、当院に入院・通院された患者さんの【情報】を用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者 所属 リハビリテーション医学教室

職名 専任講師

氏名 川上 途行

連絡先電話番号 03-5363-3833

実務責任者 所属 リハビリテーション医学教室

職名 専任講師

氏名 川上 途行

連絡先電話番号 03-5363-3833

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦2013年1月1日より2017年3月31日までの間に、心臓血管外科および循環器内科にて大動脈弁狭窄症の治療のため入院し、手術・カテーテル治療を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20160400

研究課題名 大動脈弁狭窄症治療後の嚥下障害の割合に関するの後方視的解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室

慶應義塾大学病院 リハビリテーション科

4 本研究の意義、目的、方法

大動脈弁狭窄症の患者に対しては、これまで外科的大動脈弁置換術が行われてきましたが、近年より低侵襲な治療法として経カテーテル的大動脈弁置換術が普及しています。しかし両治療法間で術後の嚥下機能や肺炎の発生率を比較した報告はまだありません。

本研究の目的は両治療法で治療後の嚥下障害や肺炎の発生率を調査・比較し、それらに影響を与

える因子を検討することです。方法としては診療録より年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査データ、嚥下機能評価指標、術式、手術時間、術後の肺炎発生の有無などの情報を収集し、統計学的な解析を行います。

5 協力をお願いする内容

診療録・画像データ・血液検査データなどの閲覧をお許しいただければ幸いです。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日（通知書発行日）～2019年12月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、【氏名および患者番号、既往歴】のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室 川上 途行

電話番号 03-5363-3833 keiourehab@gmail.com 平日9時より17時の間にご連絡下さい。

以上